

# 防災の日を前に、地震からの回避行動を考える

## ～身近な地震対策・家にいるときの行動編～

東海地震は唯一、予知できる可能性があると言われています。国では、①東海地震に関連する調査情報、②東海地震注意情報、③東海地震予知情報の三段階の情報により、事前に地震発生の可能性を周知するほか、緊急地震速報により、地震の到達前に回避行動を促します。

しかし、実際に緊急地震速報が発表された際に、何も行動がとれなかった人が4割いたという調査結果もあります。大地震に対しては、「日頃からの心構え」が生死を分けるとさえ言われています。「想定外」を「想定内」にしておくことが、慌てずに回避行動をとるためにはもっとも重要なことと言えるでしょう。

写真提供：(財)消防科学総合センター

地震発生!!

☎ 総務課 防災・危機管理係 ☎62-9326



### ①身の安全を守る

- ◆急いで机やテーブルの下に身を隠したり、家具の少ない部屋へ移動する。  
(机やテーブルがない場合には、座布団や本などで頭を保護する)
- ◆同じ場所にいる人や家族の安全を、声をかけて確認する。  
(慌てて外に飛び出すのは危険！屋根瓦やガラスの破片が落ちてくる可能性があります)



### ②脱出口を確保する

- ◆身の安全が確保されたら、揺れの合間をみてドアや窓を少し開け逃げ口を確保する。  
(大きな揺れで、ドア等が変形して開かなくなり、室内に閉じ込められることがあります)



### ③火の始末をする

- ◆目の前で火を使っていた場合や揺れが小さい場合は、すぐに消す。
- ◆揺れが激しい場合は、揺れが収まってから火の始末をする。
- ◆火が出なくてもガスの元栓は確実に締める。
- ◆停電復旧にともなう通電火災防止のため、電気のブレーカーも切る。

### ④揺れが収まっても油断しない

- ◆大きな地震の後には余震が発生することがあるので、倒れかかったタンス、本棚や冷蔵庫などには近づかない。
- ◆ラジオ、テレビなどから正しい情報を入手する。

## 町総合防災訓練・全町一斉安否確認訓練

◆日時 8月26日(日) 午前8時半より(予定)

町では、大規模な災害時には先ず「安否確認場所」での「安否確認」をお願いしています。今年も「安否確認」に重点を置き、町総合防災訓練を行います。ご家族全員でご参加ください。

※訓練の方法は自主防災会により異なります。詳しくは役員にお尋ねください。

※集落に未加入の方の安否確認訓練については、後日ハガキ等でお知らせします。